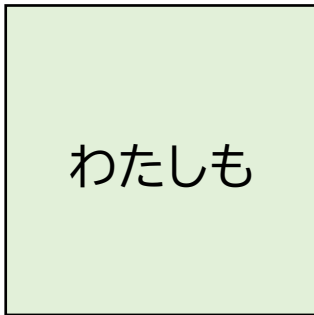
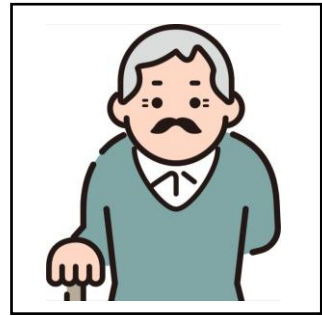


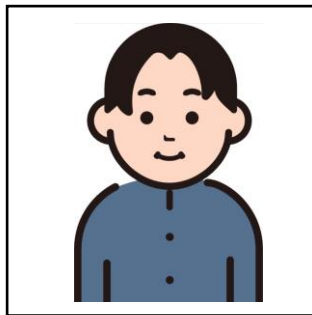
「福祉」って何だろう？



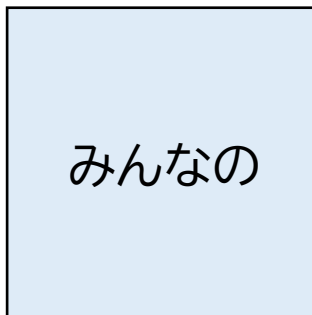
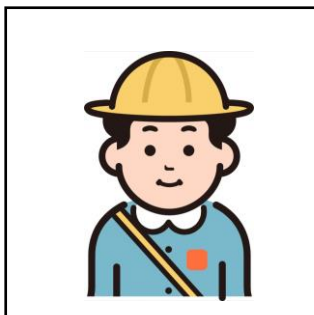
あなたも



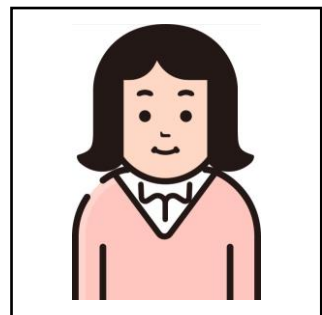
わたしも



ふくし



みんなの



33人の声

11月2日(火)
鷲宮東中学校にて、「福祉」をテーマに授業を行いました。皆さんに記入してもらったワークシートをまとめると、33人の生徒さんそれぞれの気づきや思いが見えてきました。授業を振り返りながら、改めて「福祉」って何だろう?と考えるきっかけになればと思います。

01 福祉がテーマの授業を選択した理由は?

手話を学びたい	19人
なんとなく	8人
福祉に興味がある	5人
無回答	1人

手話に興味がある人が多いんだね~



手話で自己紹介はできるかな?



02

印象に残っている福祉の授業とその理由は?

高齢者の気持ちが分かった

身体が重くてびっくりした

高齢者
疑似体験



高齢者は身近に多くいるから

坂をのぼるのが大変

方向転換に苦戦した

03

災害時、私たちにもできることを考えてみよう

「大変だったから印象に残った」という声が多かったよ

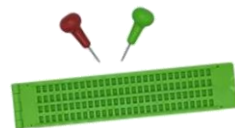


周りにも車いすの人がいて身近に感じる

車いす体験

相手に合った対応をする

点字を打つのが楽しかった



複雑で覚えるのが大変

点字体験

一緒に避難所に行く

道案内

荷物を持つ

指先だけで文字を読み取る
難しさに気づけた

車いすを押す

自分だけで対処できなかったら助けを呼ぶ

声をかける

体験することで相手の気持ちを想像する視点が芽生えたね~

耳の聞こえない人には手話や筆談、ジェスチャーで状況を伝える

何が起きているのか伝える

近所にサポートが必要な人がいるか確認



04 ヤングケラーについて

ヤングケラーを知っていますか？との質問に「知っている」と回答した生徒は13人でした。埼玉県では令和2年3月に全国初のケラー支援条例が成立しましたが、地域社会で広く理解を得るのはこれからです。

授業では「ヤングケラーだからかわいそう」ではなく、「このようないざこざで悩んでいる人がいたら声をかけてほしいと伝えました。ヤングケラーへの理解を深めることが私たちができる支援の最初のステップだと感じます。

ヤングケアラーとは…
障がいや病気によりケアを必要とする家族に代わり、家事や家族の世話などを行う18歳未満の子どものこと

05 授業を受けた感想や思いを自由に書いてみよう

福祉はみんなに必要なこと

もっと福祉について知りたい

「みんなが福祉の対象」ということが分かった中学生にもできることを積極的にしたい

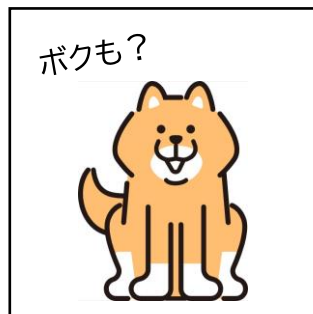
全員が生きるには幸せを維持するには助け合いが大事

住民がボランティアで取り組んでいるのがすごい！

障がいのある人や困っている人がいたらサポートすることが大切だと思った

「みんなが福祉の対象」と知って、自分にできることをやってみようと思ってくれた生徒さんがたくさんいたよ

みんな色々な気づきがあったね～



覚えているかな？チャレンジ問題

「福祉」は(①)という意味。

ふだんの(②) (③)とも言います。

社会福祉協議会の目的は、(④)。

福祉のまちづくりには、(⑤)の力が必要です。